

2021 年度教育研究活動報告用紙（様式9）

氏名	倉富 史枝	職名	特別契約教員Ⅲ教授	学位	修士（文学）（久留米大学 1995 年）
----	-------	----	-----------	----	----------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
ジェンダー論 家族社会学	ジェンダー構造、企業中心社会 日本型近代家族、性別役割分業

研 究 課 題
ジェンダー論に関して日本の近代化に伴うジェンダーの構造化を中心に考察する。また、ジェンダー意識の形成の過程と現在の意識変容を把握し、今後の女性と男性のキャリア形成連についても考察する。

担 当 授 業 科 目
共生社会とジェンダー（前期）（人文学部及び保健福祉学部の全学科、保育科の2年次） 女性史（後期）（人文学部及び保健福祉学部の全学科）、保育科の2年次は予定されていたが開講せず キャリア開発（後期）（人文学部及び保健福祉学部の全学科1年次）

授業を行う上で工夫した事項（※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項）
授業科目名【共生社会とジェンダー】 ジェンダー平等や男女平等教育、ハラスメント、性暴力の根絶などのテーマでワークショップを実施した。社会や学問に存在する性差に関わる既成概念や諸問題について講義で学習し、学んだことについてオンライン上でグループに分かれて意見交換した。性別にとらわれずに、国籍、人種、障害の有無などに関わらず多様な人々との共生社会のあり方について当事者性を持って考えられるよう、双方向でのアクティブラーニングで授業を進めた。
授業科目名【 女性史 】 現在の日本の女性の意識形成の過程を確認するという趣旨で、主に明治以降と第2次世界大戦後の教育や政治体制を対比させ、さらに、近代化が現在の学生の実態に与えた影響を理解し、歴史を生きた情報として学習意欲を高めた。卒業後、就職や家族形成など自己決定する際に、社会の仕組みの歴史的背景を理解したうえで適正に情報選択できるよう、課題を提供した。
授業科目名【キャリア開発】 オンライン授業であったため、これからの社会情勢を見据えてキャリアに関する最新の情報をネットで示した。多様な分野から外部講師から講師を招き、多角的な視野でキャリア形成ができるよう支援した。講義内容を自分のキャリアと結び付けて考えられるよう、レポートを作成させた。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
西日本社会学会 日本社会分析学会		1993 年 9 月 1993 年 10 月

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 特になし				
(学術論文) 特になし				
(翻訳) 特になし				
(学会発表) 特になし				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
特になし			

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
特になし			

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
苅田町男女共同参画推進委員 福岡家庭裁判所参与員 春日市男女共同参画審議会 遠賀町苦情処理委員 福岡県同和問題をはじめとする人権問題に係る啓発・研修講師団 大木町男女共同参画推進協議会 古賀市男女共同参画審議会 大川市男女共同参画推進協議会 福岡県人権施策推進懇話会 志免町男女共同参画推進審議会 福岡県エイズ・性感染症対策推進協議会 大牟田市男女共同参画推進委員	会長 会長 会長 会長	2001年 4月～現在に至る 2004年 4月～現在に至る 2011年 5月～現在に至る 2013年 4月～現在に至る 2014年 4月～現在に至る 2015年 3月～現在に至る 2015年 4月～現在に至る 2015年 9月～現在に至る 2016年 4月～現在に至る 2017年 4月～現在に至る 2017年 7月～現在に至る 2019年 4月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
特になし